クラス：	# 聴く・話すための発音 II ## Pronunciation for Listening and Speaking ## - よりスムーズなコミュニケーションのために - ## EPrM-62BH
曜日：	**Saturday (隔週) ハイブリッド授業**
時間	**14:30-16:20**
レベル：	**中上級**
講師：	**Ms.大石美幸**
目的：	「聴く・話すための発音Ｉ」を終了した学習者が、学んだ「英語の音の特徴と仕組み」を踏まえ、更に「英語の音体系」の理解を深め、実践応用を向上させることを目的とします。 「聴く・話すための発音Ｉ」同様、本講座の目指すところは、「発音のための発音」を超えた、「よりスムーズなコミュニケーション」です。「英語の音の特徴と仕組み」を、a) 個々の音、b) 語強勢と文強勢、c)イントネーション、d) 実践応用上現れる諸現象の四つの観点から学んでいきます。
授業内容：	上記四視点で構成されたテキストに沿い、英語の音の仕組みを学び、発音練習で身に着けていきます。 a)英語は日本語と違い、音と綴りが一致しません。 まずそのことを理解したうえで、全母音、全子音の各音(音素/phonemes)を学び、身につけます。 b)音節(syllables)、強母音(strong vowels)と弱母音(weak vowels)の概念を理解し、個々の音が語(word)になった時、更には句(phrase)や文(sentence)になった時の音の変化を学びます。文中語句の切り方とつなげ方、英語らしい強弱のリズム、品詞による強弱音分別の仕組みを学び身に付ける練習をします。 c)英語の様々な抑揚の型(intonation patterns)を学び、それぞれが司る機能、微妙なニュアンスや気持ちの表現を理解し、目的に合った表現ができることを目指します。 d)上記理論を実践応用する際に生じる諸現象の対処法を 1)速度(Speed)、2)機能別トーン(Tone)、3)英米以外の世界の地域で聞かれる様々な英語の音(Accents)の観点から学びます。
教材： 備考：	***English Pronunciation in Use, Intermediate,*** **Second Edition; Cambridge University Press** 秋の続きから始めます。 「聴く・話すための発音Ｉ」(中級)の中上級講座です。本講座受講の目安としては、「聴く・話すための発音Ｉ」を三期以上履修された方を対象とします。